

樂美術館事業計画要旨

2023 年度 期間 2023年4月1日（土）～2024年3月31日（日）

事業計画要旨

令和5年度事業計画概要

I 作品・資料の公開活用、保存・修復、作品資料の収集事業

1) 作品資料公開活用事業

1) 当館展示計画

新春展 春の歳時記―樂のおもてなし―

樂歴代特別展 ちゃわんやのともし火

樂歴代特別展 定本樂歴代（仮） 『定本樂歴代』改訂新版記念

2023年度

新春展

2) 手にふれる美術館事業

特別鑑賞茶会

手にふれる樂茶碗鑑賞会

親子でお茶一服

親子ワークショップ

※コロナ禍の為、再開未定

3) 館外展示計画 他の美術館との協力事業

2) 保存・修復事業

1) 館蔵作品の保管修理を行う。

3) 作品資料収集事業

1) 作品購入を行い、収蔵作品・資料の充実をはかる。予定作品は現在未定。

II 樂焼、その他日本陶芸、茶道工芸美術の調査研究・資料図書刊行・閲覧事業

1) インターネット上での樂焼の解説、歴史概説の掲載閲覧を充実させる。

2) SNSを利用して、1)の利用拡大に努める。

3) オンライン講演会の充実を目指す。

III 学校・社会教育への協力を行う、文化・教育振興・普及事業

1) 夏期展にて親子ワークショップを開催する。

2) 児童対象の体験学習に協力、「親子でお茶一服」等を開催する。

3) 大学の教育事業に協力する。

4) 生涯学習事業に積極的に協力する。

5) 地域文化の向上に努める。

※1)、2) に関しては、しばらくの間中止。コロナ終息後、再開する。

IV その他、この法人の目的を達成する為に必要な事業

1) 広報活動を充実させる。

2) 地震、洪水など災害時に備えて収蔵庫の災害対策を強化する。

3) データロガーを用いて、より詳細な湿度温度を記録、管理する。

2023 年度

当館展示事業

- 展示事業 1 **新春展 春の歳時記** 2023年1月7日（土）～ 4月23日（日）
 樂のおもてなし
- 春を祝う行事には、古来より豊かな実りや健やかな日々を願い、祈りが捧げられてきました。時代を越え現在でもなお私たちの暮らしに息づいており、何気なく配されている意匠にも祈りが込められています。
 そんな春に因んだ風習や行事をはじめ、時候や動植物、人々の生活などを題材にした銘のある作品などをご紹介します。
- 展示事業 2 **樂歴代特別展 ちゃわんやのとし火** 2023年4月28日（金）～ 8月27日（日）
- 樂家に伝わる黒茶碗、赤茶碗の窯。使われる窯も茶碗が焼かれる方法も初代長次郎から約450年間今も変わらず守り続けております。その伝統の火を絶やさず守り続けてきた樂家歴代の軌跡に迫ります。
- 展示事業 3 **樂歴代特別展 定本樂歴代（仮）** 2023年9月1日（金）～ 12月24日（日）
- 『定本樂歴代』改訂新版記念として、樂歴代および光悦の代表的作品と『定本樂歴代』の内容に即して展示いたします。
- 展示事業 4 **新春展** 2024年1月6日（土）～ 4月21日（日）
- 春らしい作品を展示紹介する。
- 展示事業 5

手にふれる美術館事業

展示ケースごしの展観ではなく、作品、資料を実際に手に触れて鑑賞する「手にふれる美術館構想」を促進してきた。今年度は以下の4事業を行う。

1. 特別鑑賞茶会（亭主：樂直入） 6月 10月に開催予定 年2回
2. 手にふれる樂茶碗鑑賞会 毎月一回行う（8月を除く）
3. 親子でお茶一服
4. 親子ワークショップ

※コロナ禍の為、再開未定

2023 年度

他の美術館との協力事業

- 1) 今出川通 日本画・茶の湯美術館連絡会（堂本印象美術館、茶道資料館、北村美術館、橋本関雪記念館、当館）と密接に協力活動を行う。
- 2) 公益財団法人 佐川美術館の展示、美術館活動に協力する。
「「樂直入展 一守破離の彼方」」
2023年3月16日（木）～9月18日（月・祝）

「吉左衛門X 浦上玉堂×樂直入」
2023年9月30日（土）～2024年1月28日（日）
- 3) MOA美術館 光琳乾山忌茶会 掛釜
2023年6月2日（金）・3日（土）
- 4) 美術館「えき」KYOTO 展覧会協力
2024年1月2日（火）～29日（月）